

株式会社論についての推薦文献リスト

必要最低限だけ列挙しておく（試験対策向けにはではなく、あくまでもより詳しく知りたい場合向けに）。

1. 株式会社と私的所有との関係については、かなり難解な本だが、——
『株式会社の正当性と所有理論』、有井行夫、青木書店、1991年
2. 株式会社について経済学者たちがどのように扱ってきたのかについては、——
『法人企業と現代資本主義』、間宮陽介、岩波書店、1993年
3. この講義では扱うことができなかった擬制資本（株券）の運動（特に株価変動とマクロ経済全体の成長との関係）については、——
『為替と株で考える経済学』、三土修平、日本評論社、2007年
4. 株式会社の肥大化・自立化がもたらす今日の問題（コーポレート・ガバナンス、CSR、フィランソロピー、企業犯罪など）をわかりやすくまとめたものとしては、——
『株式会社に社会的責任はあるか』、奥村宏、岩波書店、2006年